

☆ 議会だより かみまち

リズムにあわせて♪
(1/10 中新田保育所)

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

12月定例会／1月臨時会

議案審議（指定管理者が決まる）	P4
一般質問 町政を問う（9人が質問）	P6
加美町未来・夢子ども議会	P16
地域おこし協力隊と意見交換会	P24
あれからどうなった（追跡シリーズ）	P26

新春のごあいさつ

議会改革と活性化に取り組む



議長 早坂 伊佐雄

あけましておめでとう
ございます。町民の皆様
におかれましては、穏や
かな新年をお迎えのこと
と心よりお慶び申し上げ
ます。

日頃より議会に対しま
して、深いご理解とご協
力を賜り、厚く御礼申し
上げます。

本年は、天皇陛下のご
退位と皇太子殿下のご即
位に伴い、平成から新元
号に変わる年でもありま
す。

干支の己亥（つちのと・
い）の意味するところは、
絶対調な時ほど猪突猛進
で進みたくありませんが、
グツとこらえて平常心で
落とし穴を回避すること
で、将来、より大きな花
が咲くと暗示している年
だそうです。

議員は、監視機能・政
策提案機能・町民の意見
に耳を傾ける機能という
3つの役割を有し、議会
活動に反映させ、豊かで
住みよい活力あるまちづ
くりを生かせるように努
めております。

これまでも議会改革に
取り組んでまいりました。
重要案件について話し合
いを行うため、新たに議
員協議会も立ち上げまし
た。

議会には議決責任があ
ります。予算審査や決算
審査についてもこれまで
以上の日程を確保して、
慎重に審査を行っており
ます。各常任委員会でも
積極的に各種団体などと

意見交換を実施しており
ます。これからもオール
加美町議会として議会改
革と議会活性化に取り組
んでいく所存です。
結びに、加美町の更な
る発展と町民の皆様が幸
せを感じられる一年であ
りますようご祈念申し上
げ、年頭のごあいさつと
いたします。

12月 定例会

12月定例会は12月5日から7日まで
の3日間開催しました。一般質問では、
9人の議員が町政運営について問いた
しました。

町長から平成29年度一般会計決算の
不認定に係る報告がありました。
議案審議では、税条例などの一部改

正、地区公民館などの指定管理者の指
定及び平成30年度一般会計補正予算を
含む26議案が、町長より提出されまし
た。

提出された26議案について慎重に審
議した結果、すべての議案を原案通り
可決して閉会しました。

定例会で審議した内容

報告	条例	指定管理の指定	補正予算
.....			
2件	6件	11件	7件

〈決算不認定を受けて〉 目標達成できるよう努力する

第3回定例会において、平成29年度一般会計歳入歳出決算が、不認定になったことを受けて、地方自治法第233条の規定により町長から議会に対して報告がありました。

主に、議会から指摘された事業の目標が達成できなかった3点について、町長は、施策や事業の着実な進捗を改めて表明しました。

国立音楽院の周知活動

国立音楽院が掲げる目標生徒数と実際の入学人数が、平成30年度で目標の約4割であった。要因として、開校して間もないことによる、施設の周知不足が考えられる。

今後、県内外の高校訪問・施設のPRや音楽合宿の誘致など周知活動に努めていきたい。

好きな音楽を一生の仕事に活かす
国立音楽院 宮城キャンパス
第四回学校説明会 入学願書受付中!

2019年2月11日(月・祝)
参加費: 無料(要事前予約)
定員: 30名

会場: 山野楽器仙台店8F イベントスペース
※に最寄り駅は公共交通機関をご利用ください

時間: 開場 13:30
第一部 学校説明会(14:00~15:00)
だいたい2019年度生入学願書受付中!
学科紹介、キャンパスの様子、町のポイントなどをご案内いたします。

第二部 個人面談(15:15~16:15)
より深く興味のある学科を詳しく
個人的に相談したい方などお気軽にご参加ください。
お一人様あたり45分程度面談。

アーティスト科/音楽器リペア科/ギター・ウクレレ・リコーダ科/ピアノ/調律科
ヴォーカル/教習科/音楽療法学科/リトミック本科/高等部/専門部

国立音楽院 宮城キャンパス
〒981-8203 宮城県仙台市宮城野区上田町1-1(宇道駅東口)
TEL: 0229-25-5461 FAX: 0229-25-5462
Email: info@nky.ac.jp
HP: http://www.nky.ac.jp

バイオガス化事業 実現可能性に向け調査検討



これまでも実現可能性を求めて実証試験などに着手して、一定の成果が得られている。現時点では、財政負担が大きいことから実証事業を休止している。

今後は、先進事例や県が進める新しい技術の情報収集を行いながら、実現性の高い事業モデルの調査など実施していきたい。

アウトドアスポーツの振興 振興公社などとの連携強化

レンタル用品の利用状況は、10月末で自転車がい

57台、カヤックが56

艇と当初の見込みを下回った。しかし、ランニング

バイクは、1037台の利用があった。今後は、

振興公社・カヌー協会・観光まちづくり協会・オーエンスなどと連携し

て、町内外にPRしていきたい。

また、全国に店舗を展開、88万人の会員を有し、

情報発信力・独自の開発力をもつモンベルと提携

してアウトドアの普及推進、人材育成を図ってい



地区コミュニティ推進協議会が 公民館の指定管理者に

議案 審議

広原を含む6つの地区公民館は、平成31年度から3年間、地区公民館コミュニティ推進協議会が指定管理者になり、地域活動の拠点としての役割を担うこととなります。

また、やぐらい薬師の湯・林泉館・ウオーターパークなどの全10施設、宮崎陶芸の里温泉交流センター・コテージなどの9施設、中新田地区のふれあいの森パークゴルフ場など4施設の合計23施設は、(株)加美町振興公社が平成31年度から5年間、指定管理者となります。

問

6地区公民館指定管理料のうち人件費の積算根拠は。また、研修の機会はあるのか。

通勤手当などを改善、以前よりはアップしている。

答

6施設一律の考え方です。3年前に改正し、

6公民館の情報交換を含めて、公民館関係団体や教育事務所主催の研修にも参加している。



(株)加美町振興公社が

23施設の指定管理者に

問

施設を整備した目的や3公社が合併するまでの経過など町の果たす役割は大きい。今後、も町から役員を推薦するのか。

答

今後も継続していきたい。

問

人件費などの上昇で指定管理料は増える方向なのか。

答

人件費の宿日直料や最低賃金に伴う従業員の賃金などを積み上げると、約1000万円の上昇になる。

今後、指定管理料の見直しをしていく。



補正 予算

12月定例会では、情報システム改修委託料・地域型保育給付費負担金・大崎地域広域行政事務組合負担金・加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金・木造住宅耐震診断助成事業委託料・東京オリパラ加美町ホストタウン推進協議会補助金など、3億8,868万9,000円を増額し、一般会計の総額を139億4,582万9,000円に補正することを可決しました。

一般会計の補正予算の主な内容

歳出の主な内容	補正額
大崎地域広域行政事務組合負担金	2億7653万円増
地域型保育給付費負担金	3185万円増
機構集積協力金交付事業補助金	1911万円増
情報システム改修委託料	1451万円増
加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金	786万円増
木造住宅耐震診断助成事業委託料	490万円増
東京オリパラ加美町ホストタウン推進協議会補助金	150万円増

Pick up1

Pick up2

Pick up3



Pick up1

大崎広域リサイクルセンター負担金

2億7653万円増額

問 大崎地域広域行政事務組合の負担金が、当初予算の倍以上になっているが。

答 歳入の震災復興特別交付税2億9200万円のうち、大崎広域のリサイクルセンター負担金2億7600万を負担するものである。

Pick up3 東京オリパラ加美町ホストタウン推進事業

150万円増額

2月のチリ選手団招待の経費

問 東京オリパラ加美町ホストタウン推進協議会補助金150万円の内容は。

答 2月に予定しているチリパラリンピック委員長、選手2名、コーチ1名、計4名分の招待にかかる渡航費用である。



Pick up2 加美郡保健医療福祉行政事務組合負担金

786万円増額

医療体制の再編と経営改善

問 昨年の全員協議会で医療体制の再編と、経営改善に取り組むということだったがどのように改善されたのか。

答 引き続き定期的に関係者が集まり検討している。



町政を問う 9 人が質問

似顔絵を
かいてくれた
おともだち

加美町立認定こども園

おのだひがし園

きりん組



一般質問目次



通告1 **三浦 進** (みうら すずむ) 7ページ

1. 占用許可は往来妨害では



通告6 **高橋 聡輔** (たかはし そうすけ) 12ページ

1. 東京オリ・パラ事前キャンプの予定は
2. 議会や住民への開示は



通告2 **三浦 又英** (みうら またひで) 8ページ

1. 持続可能なまちづくりは



通告7 **木村 哲夫** (きむら てつお) 13ページ

1. 分権改革・提案方式の活用を
2. 中新田公民館の整備状況は



通告3 **佐藤 善一** (さとう ぜんいち) 9ページ

1. 旭小を「フィールドミュージアム構想」の拠点に
2. ゆ〜らんどへ「薪ボイラー」の設置を



通告8 **味上 庄一郎** (みかみ しゅういちろう) 14ページ

1. 2年連続の不認定だが3選出馬は



通告4 **伊藤 由子** (いとう ゆうこ) 10ページ

1. 移住者へのアフターケアは
2. 早期処理は安全とは言えないのでは



通告9 **猪股 俊一** (いのまた しゅんいち) 15ページ

1. 解体処理施設の建設は
2. 汚染牧草の早期処理は
3. 婚活における現状と課題は



通告5 **一條 寛** (いちじょう ひろし) 11ページ

1. 幼児教育・保育の無償化の内容は
2. SNSでのいじめ相談体制構築は
3. 新生児の聴覚検査費用助成の状況は

一般質問とは、議員が町政全般に関して、町長や教育長など執行機関に対し質問することで、定例会（年4回）ごとに行われます。



三 浦 進 議員

公衆用道路

占用許可は往来妨害では

町 長

全くそういった意図はない

問

公衆用道路を資材置き場として占用許可を与え、住民の自由な通行を妨害し、農地法に抵触する事態を招いた。公衆用道路をなぜ道路と認識しなかったか。

町長

現況が工場用地として利用されていると考えてきたが、結果的には誤りだった。

問

「公衆用道路ではないので農地法第74条の2の用途変更には当たらない」と近隣地権者へ文書を交付したが、虚偽公文書作成では。

町長

公衆用道路であるが、農地法第74条の2の縛りがあると考えていなかった。

問

※道路占用許可の目的を資材置場とするのは加美町公共物管理条例違反では。

総務課長

町の主張が誤りだったので、訂正してお詫びする。



孫沢字東沢・公衆用道路を含む土地を囲う塀

Check

※道路占用許可

道路法第32条・道路は、自由な通行を目的としており、道路占用は、通行の支障になることから道路管理者の許可が必要です。許可には、道路の構造・交通に著しい支障を与えないことが必要です。

問

近隣地権者が農地法第74条の2について、何回も指摘の文書を提出していたのに無視したのでは。

総務課長

結果として誤りであつたので申しわけない。

問

農林水産省から道路用地として譲与された土地2万3727㎡の今後の原状回復は。

総務課長

現時点で特に整備などは考えていない。現実問題として整備することは難しい。

問

町はもっと近隣地権者に寄り添った対応をすべきだったと思う。自由な通行が可能になるのはいつか。また町の対応は適切であつたのか。

総務課長

町が主張していることが誤りであつた。現在使用している事業者に早期解決に向けた依頼をしている。自由な通行確保を早く進めていきたい。

問

公衆用道路を塀で囲い、資材置場として道路を閉塞した占用許可は往来妨害の罪に当たると思うが。

町長

全くそういった意図はない。隣接する所有者の交通の妨げになっているので、早く解決するように考えている。

持続可能なまちづくりは



三浦 又英 議員

町 長 イカノエ事業の推進

問 これまで取り組んだ事業の成果と課題は。

町長 「里山経済の確立」の移住定住の各事業で、123名が移住した。

①観光振興のため、事業の継続、見直しを含め、交流人口の増加を図った。②農家所得の向上にむけ、薬用植物栽培の産地化・6次化に努めた。

③エネルギー事業は、バイオガス化事業を休止し、地域新電力の開始、薪ボイラーの検討を行った。

その他「健康社会の実現」「子ども・子育て応援社会の実現」に向けた取り組みを行った。

課題は、全庁上げて取り組む。

問 年度途中の職員採用や社会人枠の拡大は移住定住につながっているか。

総務課長 社会人枠で採用している自治体を参考に、U・I・ターンを含めて、実施に向け検討している。

問 国立音楽院の来年度の入学人数や改善策は。

企画財政課長 来年度入学者30人前後で、地元との協力による食堂開始の報告を受けている。

問 休止したバイオガス化事業の再考は。

企画財政課長 畜産の糞尿、食品の残渣を処理し、液肥を還元する循環型農業を進める事も大事であるが、現実的にすぐ事業を実施することは困難。

問 地方自治法の一部改正に伴い、不認定に係る報告を受けたが、どのように受け止めたか。

町長 不認定を重く受け止め、事業の統廃合を検討、さらに精査し、平成31年度予算に反映させる。



新築の住宅が立ち並び広原スマイルタウン

問 不認定後の職員の意欲は。

町長 職員は委縮することなく、しっかりと成果を出す思いで、一丸となって取り組んでいる。

問 平成31年度の予算編成方針は。

町長 第二次加美町総合計画の施策を着実に進めるために、①一般会計の規模は129億円と設定。②ゼロベースによる編成。③公共施設およびインフラの計画管理。④重点施策の展開に取り組む。

問 議会各常任委員会から、平成31年度予算に関する要望書が提出されたが。

町長 担当課からの聞き取り、大変重いと考えた。意見を十分尊重し、臨んでほしいと、関係各課全所属長に対し、周知した。



議長(写真右)から町長へ要望書を手渡す(平成30年12月5日)



佐藤 善一 議員

地域振興

旭を「フィールドミュージアム構想」の拠点に

町長

町の拠点に位置づけは可能

問 最上・小野田線及び鳴子をつなぐルート整備を推進し、袋小路の解消をすべきでは。

町長 箕輪から山形・最上県境まで約4kmの未改良区や国道47号線の鳴子へ通じる道路の改良整備を強く県に要望する。

問 ニツ石ダム・岩堂沢ダムを通して鳴子・中山平の国道47号線に出る観光ルートは、災害時の物資輸送道路としても整備すべきと思うが。

町長 旭小学校跡地利用が地域活性化の重要なポイントとなることから、優先的に検討されている。

問 旭地区地域運営組織準備委員会の進捗状況は。

町長 旭小学校跡地利用が地域活性化の重要なポイントとなることから、優先的に検討されている。

町長 旭小学校跡地を、大崎で進めている「フィールドミュージアム構想」の、加美町における拠点にしては。

町長 加美町の拠点に位置づけは可能である。世界農業遺産関連の利用も十分考慮したい。

問 土木事務所長も同じ認識を持っている。平成33年度以降の道路事業計画に盛り込むよう働きかける。

町長 宮崎「どんこ館」の運営状況と効果は、売上も伸びており、宮崎の商店街活性化に十分効果が出ている。

問 採算額1億2000万円が独り歩きしているが。

町長 どんこ館は、年間の運営管理経費が1200万円なので、単純にその10倍の1億2000万円が採算ラインとされた。その売上がなければ運営できないということではない。トイレは休日・夜間も使用可能であり、運営管理経費の一部は町が負担すべきと考える。

森林整備

ゆ〜らんどへ「薪ボイラー」の設置を

町長 再委託し積極的に進めたい



ゆ〜らんど施設内に積み上げられた薪の有効活用を

問 森林経営管理権集積計画の進捗状況は。

町長 森林所有者の経営管理意向調査や調査範囲の設定など、大崎圏域推進会議を開きながら平成30年度実施に向けて検討している。

問 事業実施の受け皿としてゆ〜らんどへ「薪ボイラー」の設置を進めるべきと思うが。

町長 民間事業者・林業経営者に再委託し、積極的に進めたい。

町長 民間事業者・林業経営者に再委託し、積極的に進めたい。

移住・定住

移住者へのアフターケアは

ひと・しごと
支援室 長

アンケートを検討していきたい



伊藤 由子 議員



分譲中の下原レインボービレッジ

問

下原地区の定住促進事業の現状は。

町長

下原レインボービレッジは、13区画を分譲し、現在9区画が成約済みで30人が移り住む。町外からは2世帯の7人が移住してくる予定。

問

ファミリー住ま居る住宅取得補助金における実績は。

町長

町内に新たに住宅を取得した新婚世帯・子育て世帯・新規転入者に助成している。平成27年から30世帯84人が県内から転入、移住してきている。

問

移住・定住の指標に住宅の確保があるが、町の支援は。

企画財政課長

平成29年度までの実績で、空き家バンク26件が成約。そのうち13件が賃貸借で、残りの13件が売買である。

問

これまでかなりの人数が移住してきているが、その後のアフターケアは。

ひと・しごと支援室長

地域おこし協力隊とは定期的に交流しているが、それ以外には積極的なケアはしていない。今後、ぜひアンケートを検討していきたい。

放射性廃棄物

早期処理は安全とは言えないのでは

町長

早期処理という方法はない

問

個人保管農家対象案（400kg以下は農地へのすき込み・400kg超のものは処理方法が決定するまで安全管理）に対するアンケートの結果は。

農林課長

400kg以下の汚染牧草保管農家34軒中、27軒から回収。24軒が同意、3軒が同意しないと回答している。

問

町の処理方針案の決定は、どの時点でするのか。

農林課長

各農家でのすき込みは放射能の拡散になるとの意見があった。町有地でできないか検討しており、2月中旬に説明会を実施する。そこで保管農家や住民の同意を



400kg以下はすき込み処理の方針

問

加美町にある400t余りの牧草を燃やすと400tほどの焼却灰が出る。その行先を考える必要があるので、早期処理は安全とは言えないのでは。

町長

どの地域も早期処理ができない状況。早期処理という方法はない。

問

町に提出された、旧田代放牧場にある汚染牧草に関する要望書への回答は。

農林課長

旧田代放牧場にある327tは、すき込みで減らしていく。撤去することは、どこかに場所を探すことになるので、それは出来ない。



一 條 寛 議員

子育て支援

幼児教育・保育の無償化の内容は

町 長

3歳児から5歳児は全て無償化

問 子育てと仕事の両立、子育てや教育費負担の軽減をはかる少子化対策として、来年度幼児教育・保育の無償化が予定されているが、その内容、町財政への影響と保護者への周知は。

子育てと仕事の両立、子育てや教育費負担の軽減をはかる少子化対策として、来年度幼児教育・保育の無償化が予定されているが、その内容、町財政への影響と保護者への周知は。

来年度は全額国庫負担のようであるが、その後についてはまだ示されていない。

保護者へは、入所・入園通知や、9月に発送する負担額の変更通知の際に周知することを検討している。

町長 保育所・幼稚園・認定こども園を利用する3歳児から5歳児の全ての児童へ利用料を無償化し、ゼロ歳から2歳児については、住民税非

問 私立の場合はどのようにになるか。

当然、私立も無償化になる、手続きは一度保育料を納めてもらい、後で町から給付するという流れになると聞いている。

問 保育士・幼稚園教諭は、無償化で業務負担が増加し、労働が過重になると危惧しているが。

現在、保育所では時間外受け入れもあり、担任が長時間保育に携わる必要がある。また、残務整理や行事の準備などで残業し苦労している

ので、関係機関と連携し適切な職員配置を検討したい。

現在、保育所では時間外受け入れもあり、担任が長時間保育に携わる必要がある。また、残務整理や行事の準備などで残業し苦労している



保育料の無償化へ向けてスタート

教育環境

SNSでのいじめ相談体制構築は

教育長

来年度構築に向け県教委が検討

障害福祉

問

新生児の聴覚検査費用助成の状況は。

町長

平成29年度より5000円を上限に助成している。

問 いじめによる悲劇を未然に防ぐため、子どもたちからのSOSをいち早くキャッチする手法として、ラインなどSNSでの相談体制の構築が検討されているが。

県教育委員会は、来年度からのSNSでの相談体制構築に向け検討している。本町では、児童生徒の見守り、教職員との信頼関係の構築に

町長 県教育委員会は、来年度からのSNSでの相談体制構築に向け検討している。本町では、児童生徒の見守り、教職員との信頼関係の構築に

教育長 相談する力、SOSを発信する力を簡単に付けることは難しいが、学校教育活動全体を通じ指導していく。

問 子どもたちにSOSの出し方をどのように指導しているか。

相談する力、SOSを発信する力を簡単に付けることは難しいが、学校教育活動全体を通じ指導していく。



SOSを発信する方法を



高橋 聡 輔 議員

東京オリ・パラ事前キャンプの予定は

オリ
パラ
誘致

町 長 チリのパラカヌー選手を招待

問 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致の進捗状況や今後の予定は。

町長 加美町は昨年2月から誘致活動を始め、9月にチリを相手国とした復興ありがとう※1ホストタウンに登録をした。来年度の2月24、25日にチリパラリンピック委員長、パラカヌー選手2名、コーチを含む計4名を町に招待する予定であり、今後は、2月25日に調印式を行う計画である。

町長 加美町は昨年2月から誘致活動を始め、9月にチリを相手国とした復興ありがとう※1ホストタウンに登録をした。来年度の2月24、25日にチリパラリンピック委員長、パラカヌー選手2名、コーチを含む計4名を町に招待する予定であり、今後は、2月25日に調印式を行う計画である。

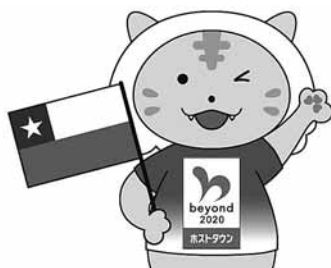
問 なぜチリなのか。

町長 南三陸町がチリから支援を受けたつながりがあるが復興半ばの状況である。加美町は震災時に南三陸町から被災

者を受け入れた関係もあり、加美町が受け入れることになった。

問 誘致のメリットは。

町長 ①町民の一体感の醸成②共生社会の意識向上③全国へ発信する絶好の機会④チリ関係者との人的ネットワークの構築⑤町民がアスリートの競技に打ち込む姿を見ることによってスポーツへの関心がさらに高まる。



復興ありがとうへ向けスタート

Check

※1 ホストタウン

全国の自治体が、大会に参加する国や地域の「おもてなし」役になるということ。選手の事前合宿や相手国の文化を知るイベントを通して、オリンピックを盛り上げていくだけではなく、大会後もさまざまな形で交流を深めていくという国を挙げた取り組みです。

行政評価

議会や住民への開示は

町 長

さらに分かりやすく公表

問 ※2 行政評価の目的は。

町長 成果や課題を明らかにし、PDCAサイクルに転換させ業務改善に反映させることを目的としている。

問 議会や、住民への開示について今後の方針は。

町長 評価する職員の目的意識・コスト意識などの改善を図り、評価結果を事業の改善・改革・新たな企画立案に反映していく。

行政活動の目的・達成目標・評価情報・評価決定過程を分かりやすく公表し、透明性を高め、理解の向上を図り、さらなる協働のまちづくりを進めていく。

Check

※2 行政評価

まちづくりを進める上で必要な施策や事業について目標や方針がどれだけ達成し成果が出ているのかという視点で、客観的・具体的な指標を用いて評価し、その結果を事業の改善につなげていくというもの。



問 ホームページ上の行政評価をより分かりやすく図解などで説明する必要があると思うが。

企画財政課長 職員以外には大変分かりにくい構成になっている。他の自治体を参考にしながら改めていく。



木村哲夫 議員

地方分権

分権改革・提案方式の活用を

町長

制度の周知と育成に取り組む

問

地方分権改革・提案方式を活用して、地域の抱える課題を把握し、政策提案ができる職員の育成と、成果を住民に還元し、魅力ある地域づくりに取り組む考えは。

町長

この制度自体あまり知られていない。改めて職員に周知したい。職員の政策立案やコミュニケーション能力の向上など必要不可欠であり、育成に取り組んでいく。

問

地方分権改革によって公営住宅法の改正があり、入居資格の同居親族要件が廃止されたが、加美町の入居条件の中にそのまま残っている。条例改正が必要ではないか。

町長

改革はどんどん進んでいるが、地方がそういった動きについていけない。指摘のあった公営住宅法の改正に関する条例の改正を含め検討していきたい。



研修所における職員研修の様子

公民館建設

中新田公民館の整備状況は

町長

答申を受け新築を検討している

問

中新田公民館整備検討委員会から答申を受けたが、今後の進め方は。

町長

答申は「未来を見据えた公民館の実現に向けて」という内容で、新築が望ましいとのことである。来年度に設計業務、翌年度建設を検討している。場所は、中新田体育館の東側を適地としている。

問

公共施設等の総合管理計画がまず必要と思う。平成30年度内に計画を目指すとしてきたが、状況は。

総務課長

国から平成32年度中に個別計画をより詳しく設定するよう通知があり、町としても平成32年度まで修正する考えである。

問

検討委員会から、駐車場や敷地内通路、緑地帯なども検討すべきとの話を聞いた。今後、体育館の建替えや改修など、30年、40年先を見据えて総合的に検討すべきでは。また、起債を活用して土地の購入を視野に入れた計画は。

町長

検討委員会からも指摘の点は聞いているし同感である。貴重な提案であり、もう少し内部で検討したい。



中新田公民館で熱心な活動（加美太極拳）

決算認定

2年連続の不認定だが3選出馬は

町 長

町の事業一つ一つに全力で取り組む



味上 庄一郎 議員



福祉施設での音楽療法を

問

2年連続決算不認定と、予算修正可決という結果をどう受け止める、新年度予算に活かしていくのか。

町長

重く受け止めている。町民の意見、議会の意見に耳を傾け事業の優先順位と選択および周知を徹底し、新年度予算に反映させたい。

問

不認定になった要因の一つが(株)国立音楽院である。移住者に様々な補助をしている。一時的に数は増えるが、将来的に永住するとは考えにくい。

町長

半農半音楽という形や音楽療法を活用し、福祉施設に就職して定住することを支援していきたい。

問

町長自身の後援会報で、町の財政負担はないとしているが、PR活動に同行する職員の人件費は町の財源ではないのか。

企画財政課長

宿泊費と日当を合わせて、1万6500円支出している。

問

昨年の第38回少年の主張大崎地区大会で、加美町の中学生が入賞した。その中で「町に人を呼ぶことより、住んでいる人がいなくなってしまうようにすることが大事」と主張しているが、どのように感じるか。

町長

音楽だけで解決するとは思っていない。移住・定住との両面作戦が必要である。

問

議会と町民に対する発言に差がある。小野田地区でのタウンミーティングで、町長は「議会で予算が通り、適正に執行したのに不認定になった」と述べている。発言の真意は。

町長

誤解されたことは不本意であり、議会を批判した訳ではない。

問

旧田代放牧場に一時保管している汚染牧草は、平成26年に制定した「加美町水資源条例」に違反していると思うが。

総務課長

旧田代放牧場は、条例で定める水資源の保全区域内にある。条例では、焼却や埋め立てなど処理事業に伴う開発行為を規制するもので、一時保管の仮置き場は該当しない。

問

新聞で前副町長が2年連続の不認定を受け、辞任と報じられた。責任を取るのが副町長で良いのか。

また、このような状況であるが3期目に出馬の意欲はあるか。

町長

前副町長の思いはいろいろであるが、完全に理解しているわけではない。大相撲の貴景勝が「目の前の一番一番に全力を出す」と言っている。私も町の事業一つ一つに全力で取り組んでいく。



タウンミーティング (小野田地区)



猪股俊一 議員



イノシシによる被害が深刻

鳥獣被害対策

解体処理施設の建設は

町長 平成31年度に建設予定

問 福岡市でイノシシが、人に攻撃する事例があったが、加美町の直近の被害状況は。

町長 人的被害はないが、農作物の被害総額は431万2000円で、75%がイノシシによるものである。

問 捕獲した鳥獣の処理方法は。

町長 主に実施隊員が自宅敷地内で解体処理を行い、肉は隊員が自家消費している。二ホンザルや処理後の臓器については、宮崎支所に設置している保管用冷蔵庫に搬入し、クリーンセンターで焼却処理を行っている。

問 将来のことを考えて、解体処理施設を建設すべきでは。

町長 平成31年度に、鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、処理施設の建設を考えている。

利用自肅牧草

汚染牧草の早期処理は

町長 処理方針が決定するまで安全に保管

結婚推進

町長 問

婚活における現状と課題は。

結婚相談会で、本人や親から相談を受けている。かみ恋ツアーなどで、多くのカップルの誕生と成婚率を上げたい。

問 利用自肅牧草の草地へのすき込み計画は。

町長 国の処理基準及び町の実証試験の結果をもとに、400㍏以下の汚染牧草のすき込みを実施したい。

農林課長 補佐 保管農家の意向調査では、9割弱の同意を得ている。また、地域住民にも説明し、同意をもらいながら進める。

問 大崎広域で混焼が可能なれば焼却すべきでは。また、旧田代放牧場の汚染牧草の早期処理は。

町長 焼却が一番困難な処理方法で風評被害なども心配である。処理方針が決定するまでの間は、安全に保管していく。

また、耐用年数が5年から7年のフレコンバッグも来年度で5年を迎えるため、新しい物に詰め替えて安全に保管する。



8年目を迎える利用自肅牧草

将来を担う子どもたちから 町へするどい質問

～加美町 未来・夢 子ども議会～

子ども議会

11月22日



議長や副議長を決める抽選



子ども議員に木村委員長（議運）から
任命書が手渡される（11/6）



広原小の6年生が事前勉強会（9/26）



町の公認ゆるキャラ「かみ〜ご」から
子ども議員に記念品が渡される



後半から議長を務めた小山副議長



はっきりとした声で指名する畠山議長

加美町 未来・夢子ども議会宣言



わたなべ かずき
渡辺 一樹 議員
(宮崎小学校6年)



私たちは子ども議員は、加美町の全小中学生の代表として次のことを宣言し、各学校で主体的な活動に取り組めます。

1、私たちは、加美町民であることを誇りに思い、これから緑豊かな自然や文化・環境を守り続けるための活動に、積極的に取り組みます。

2、私たちは、加美町が将来も、安全・安心なまち、環境に優しいまち、誰もが心豊かに成長できるまち、そして、誰もが楽しく暮らせるまちになるよう努力していきます。

平成30年11月22日、議会の仕組みや行政の仕事を理解し関心を高めてもらう目的で今回で4回目を迎える「加美町未来・夢子ども議会」を開催しました。事前に任命書が渡され、その後抽選の結果、議長は畠山愛斗さん(旭小学校)、副議長は小山凜さん(鹿原小学校)に決まりました。

当日は、町内の小学校の18人の子ども議員が、町長や教育長に堂々と質問や提言を行いました。最後は、「加美町未来・夢子ども議会宣言」を全会一致で採択し閉会しました。

鹿原小学校 6年



おやま りん
小山 凜 議員

バリアフリーの普及へ

質問 町には、車椅子で生活している人がいます。車椅子の人も安全・安心に生活できるようなバリアフリー化は、どれぐらい進んでいますか。

答弁(町長) 町の施設で、トイレの洋式化やスロープを設置するなど、改修工事を行っています。車椅子でも入っていけるような多目的トイレも整備を進めていきます。

加美町はチリ共和国のパラリンピック事前キャンプ地として、さまざまなパラリンピックの選手が来ます。障害があるなしにかかわらず、安心して安全に暮らせる町をつくっていきます。

エネルギー対策

質問 5年生のときに、てんぷら油などで走るバスがあると勉強しました。加美町でもこのようなバスをつくれば環境にもいいと思いますが。

答弁(町長) 現在、町ではこのような計画はありません。隣の大崎市では既に民間の事業者が市役所・スーパーなどから、てんぷら油を回収して、バイオディーゼル燃料をつくり、市役所の車などに使っているようです。

てんぷら油などの燃料を家庭から集める仕組みなど準備が必要なので、参考にしながらこれから研究したいと思っています。



やたき そら
矢瀧 そら 議員



私たちは こんなまちにしたい





こんの かずま
今野 和馬 議員

災害支援対策

質問 今年は特に大きな台風が何回も来ました。農業の盛んな加美町では、台風で農作物の被害が大きくならないためにどんな対策をしていますか。

答弁(町長) 今年の8月、9月に集中して台風・大雨被害がありました。自然の猛威に対して被害を未然に防ぐということには限界があります。町だけではなく、気象情報を確認したり、事前に農作物の管理技術対策をするなど、農業関係団体と連携しながら必要な支援策をしていきたいと思っています。

子どもの体力向上

質問 公園の遊具が少ないと感じます。運動量が少なくなっていて、体力が落ちていることが問題になっています。友だちや家族と一緒に体を動かして楽しめる施設の計画はありますか。

答弁(町長) 遊びを通して体力をつけ、ルールを学び、さまざまな工夫をすることで役割も学べと言われており、成長する上でとても大切なことです。今年度に小野田西地区児童遊園のリングクライムなどの遊具を修繕しました。家族で山を散策したり、キャッチボールやサッカーをしたり大いに体を使って遊んでほしいです。



こんの ゆうな
今野 祐奈 議員

公園・危険ブロック塀対策

質問 公園に、子どもや親子が楽しく遊べるような遊具は少なく感じます。先日、大阪でブロック塀が倒れ痛ましい事故がありました。加美町での取り組みは。



おだしま かほ
小田島 果穂 議員

答弁(町長) 町には公園が119カ所もあります。危険な遊具の場合は修繕・撤去したり、新しいものを設置しており、さざくら公園にも新しい遊具を設置したところです。

平成31年度、新たな事業として危険ブロック除去、ブロック塀の除去に対しての補助制度を予定しています。

楽しい学校生活

質問 遊びながら体力もつけられるジャングルジムなどの遊具を設置してもらえないですか。また、老朽化した校舎の新築やリフォーム計画は。



ほんだ ゆういちろう
本田 悠一郎 議員

答弁(教育長) 古くて危険な遊具でけがをするような事故がたくさん出たために撤去されました。中新田小学校でも、うんていやリングトンネル、二連シーソーなどが撤去されました。欲しい遊具があれば校長先生にお願いしてみてください。教育委員会で校長先生と相談しながら考えていきます。また、校舎は来年計画をつくり、長く使えるようにしたいと考えています。





なかむら りの
中村 梨乃 議員

安全な学校生活

質問 広原小学校の机と椅子は、ここ数年で3年生以上はスチール製の机にかわりました。1、2年生がささくれた木の机と椅子を使っているの、取りかえを希望します。

答弁(教育長) 傷みのひどい学校の机と椅子を優先して交換してきましたが、広原小学校の1、2年生は、まだ交換に至っていません。現在、傷み具合を調査し結果を見て、交換が必要かどうかを決めます。なお、ささくれ立っているものがあつたら、先生にお話して直してもらうようにしてください。



おの あいか
小野 愛佳 議員

移住定住対策

質問 たくさんの人たちがずっと加美町で生活をしてもらえるように、今後も住宅地を造成する計画や取り組みは。

答弁(町長) 「広原スマイルタウン」は1週間で全16区画が完売し、15世帯60人が移り住んでいます。「下原レインボービレッジ」は13区画のうち現在9区画が契約済みで、30人が移り住んでくる予定です。東京で移住セミナーも開催し、実際に移住した方が8人です。加美町に住みたいと思っただけのようなまちづくりを進めます。



おおらい うた
大類 詩 議員

教育環境整備

質問 暑さ対策として学校にエアコンを設置する計画はありますか。また、洋式トイレをもっと増やす計画はありますか。町は教育の重点をどこに置いていますか。

答弁(教育長) 小学校の普通教室にエアコンを設置するため、現在、エアコンの種類や設置数、費用を調べています。暑くなる前に設置したいと考えています。学校のトイレの洋式化は順次進めていきます。また、教育目標の重点事項は「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」です。全員が明るく楽しい学校生活を送れるように、取り組んでいきます。



いのうえ りょうご
井上 奨梧 議員

地域活性化

質問 観光施設などが薬葉の一部に集中していますが、どの地区も盛り上がるような計画は。また、賀美石地区には公園が少なく、家で過ごすことが多いです。

答弁(町長) 鳥屋ヶ崎獅子舞や鳥屋ヶ崎神社の見事な桜・小泉地区の水祝儀という珍しい伝統行事なども全て賀美石のすばらしい資源です。これらの資源の活用を皆さんで考えていきたいと思ひます。残念ですが賀美石地区に新しい公園をつくる予定はありません。豊かな自然や里山で四季を通じて遊ぶことも大事なことで思っています。





いのまた りおん 議員

地産地消の推進

質問 加美町の農業の活性化を図るためにも、売店や飲食店で地産地消を今より進めたほうが良いと思いますが、取り組みを教えてください。

答弁(町長) 現在、菓業の土産センターで、地元でとれた農産物や加工品などを販売しています。また、ワサビを使ったメニューを開発し町内外に提供しています。宮崎地区のどどんこ館では、地場産のお餅を提供しています。

質問 その地産地消の取り組みで、農家をする人は増えましたか。

答弁(農林課長補佐) 町からの補助金を利用し、漬物やお菓子などをつくったりして、地産地消に頑張っている農家の方は増えています。

観光の振興

質問 自然を活用し、キャンプ場やアウトドアスポーツ施設を設置し、町の魅力をPRしていくなど町が活性化する取り組みは。

答弁(町長) 貸し出し用の自転車・カヤック・ランニングバイクなどを整備し、さまざまなイベントも開催したところです。観光まちづくり協会がInstagramなどを活用して町のPRを発信しています。

質問 町に来る人が増えると、どのような効果がありますか。

答弁(商工観光課長) 地元産の農作物を買ってもらうことで、外から来るお客さんも喜び、町の生産者の方も潤うと期待されます。



はたけやま あいと 議員

不法投棄の防止

質問 鳴瀬地区には多くの用水路があり、ごみが捨てられています。加美町の川や自然をきれいにする取り組みは。



ささき ゆうな 議員

答弁(町長) 不法投棄は、川を汚し、下流域まで悪影響を及ぼします。不法投棄をなくすために、自然環境保全監視員7人が不法投棄行為の未然防止と回収のために山や川の見回りを行っています。また、安全・安心パトロール隊による巡回や、「町民清掃デー」で町をきれいにしようという取り組みも行っています。

公園整備の計画

質問 学校では毎週月曜日に「ノーゲームデー」と決めて呼びかけていますが、近くで安全に遊べる場所が少ないと思います。災害時に避難場所にもなる公園整備計画は。



いとう そのの 議員

答弁(町長) 鳴瀬地区は公園が余り多くはありませんが、平柳地区集会所の農村公園は、敷地内を整備し、安全に利用できるようにしました。放課後児童クラブなどで体力づくりに取り組んでほしいと思います。身近な公園の遊具の危険なものは計画に基づいて、調査しながら撤去したり修繕をしていきます。





わたなべ かずき
渡辺 一樹 議員

高齢福祉対策

質問 加美町では高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者の方もいると聞きました。お年寄りが過ごしやすいような取り組みは。

答弁(町長) 10月末現在で加美町の人口は2万3,440人、3人に1人が高齢者です。そのうち高齢者の一人暮らしが900軒あります。配達事業者と、高齢者の見守りに関する協定を結んだり、民生委員を含めた連絡体制をつくっています。また、生きがいづくりや健康づくりの支援、見守りサービスや介護予防の充実などに取り組んでいます。

田んぼの利活用

質問 町には田んぼが多く、米以外に利用されていると思いますが、どのように利用されていますか。また、田んぼを守る取り組みは。

答弁(町長) 加美町の田んぼの6割が主食用米を育てています。家畜の餌として利用される飼料用米や、おせんべい、お餅の原料となる加工米や輸出米などもつくっています。米を作付していない田んぼには大豆や大麦、家畜の餌となる牧草や飼料用作物、野菜・山菜・花・果樹などを栽培しています。田んぼを守るために、若い方々の農業従事者育成も行っています。



みしま ひかり 議員



さとう ひだか
佐藤 陽飛 議員

休憩用ベンチの設置

質問 歩くことは健康にも良いと聞きますが、休憩するベンチなどが少ないと思います。歩道にちょっとした日陰などがあるベンチを設置できないでしょうか。

答弁(町長) 整備する際は、交通量に応じた基準により道路幅というものが決められており、簡単にベンチを設置することはできません。しかし、遊歩道や広場などがあって、車両が乗り入れできないところがあればベンチの設置は可能です。

さまざまな工夫をして、高齢者も気持ちよく散歩をしてもらえるような取り組みをしていきます。

防犯対策

質問 夜に犬の散歩をするときは懐中電灯がないと危険です。防犯面からも街灯が必要です。街灯を増やす計画は。

答弁(町長) 町が管理している街灯は4,000カ所あり、少なくともありませんがまだまだ暗いところがあります。町は、必要性を判断し毎年50カ所ほど増設をしています。なお、犬の散歩も暗くなる前にし、散歩するときは、懐中電灯や反射するものを身につけて、交通事故にあわないように気をつけてください。



いとう ちおり
伊藤 千織 議員



意見交換会

地域の代表者の声を議会へ

農業委員会（平成30年10月25日） 区長会（平成30年12月17日）

耕作放棄地の活用を

始めに農業委員会の活動状況の紹介があり、その後、法人化・農地集約、後継者育成・新規就農者支援、耕作放棄地などの状況について意見を伺いました。

また、放射性汚染牧草の処分・耕作放棄地の非農地化・農地利用最適化推進交付金の活用に必要な条例整備などについて要望を受けました。



新規就農者支援・耕作放棄地対策は重要（農業委員会）



区長の声を議会へ（区長会）

決算不認定へ質問集中

各区長から、「予算を可決して決算不認定はおかしい」「国立音楽院の費用対効果は3割だが、福祉としてのリトミックを考慮してほしい」などの意見がありました。

議長からは「不認定は本来、不適切な支出に伴うものだが、今回は実績が計画の数値と大きく異なるため、執行部にももう少し頑張ってもらいたい」という意味の不認定である」と理解を求めました。

委員会レポート

産業経済常任委員会（平成30年10月29～31日）

山の駅の整備で観光客増へ

視察先：鳥取県大山町・滋賀県湖南市

参加した委員は、三浦英典（委員長）・一條寛（副委員長）
・味上庄一郎（以下委員）・伊藤淳・佐藤善一・下山孝雄・早坂伊佐雄（議長）

【研修先の紹介】

- 鳥取県大山町
- 人口 16,463人
- 議員定数 16人
- 中国地方最高峰である伯耆大山の名を冠した町。

山の駅の役割に期待

大山町の主な産業は農業、畜産、漁業であるが移住者の定着率も高い町である。

天台宗大山寺参道沿いの空き店舗や旅館跡地が並ぶ場所に、地方創生拠点整備補助金を活用し「大山参道市場」を建設した。地元食材を利用した食品・商品の提供と地域特産品の販売を行ない、大山寺参道の「人だまり」を創る山の駅として期待された。



観光客でにぎわう大山参道市場

近くにはモンベル第一号店もあり、山岳登山の関連商品を販売している。町がモンベルから土地を借り上げ施設を建設し、運営を所有者であるモンベルに委託している。議会ではその経過や手法に異論が続出したが、大山開山1300年祭が間近にせまっていたこともあり建設に至った。大山参道市場の整備やイベントの実施で、大山への観光客が4、5割程度増加している。

挨拶が心を育てる

視察先：福井県永平寺町、石川県津幡町・内灘町

参加した委員は、高橋聡輔（委員長）・三浦進（副委員長）
・猪股俊一（以下委員）・伊藤信行・米木正二・早坂伊佐雄（議長）

【研修先の紹介】

福井県永平寺町
●人口 18,667人
●議員定数 18人
●中学3年まで医療費無料化・学校給食の無償化・幼保一元化による低保育料など安心・安全な子育てしやすいまちづくり

校舎に向かって挨拶

永平寺町の志比小学校では、目指す児童像として「**かんがえる子** **がんばる子** **やさしい子** **きたえる子**」をあげており、地域に対する愛着や学校の枠を広げ地域の方と一緒に学びを展開することを目的として活動を展開していた。

各学年に合わせた家庭学習の手引きを配布し、何のために勉強するか、学習の注意点、学習後の確認事項を明確化し徹底を図っていた。また、学



感謝の気持ちが心を強くし学習意欲へ
(福井県永平寺町・志比小学校)

力向上策として希望者を対象に「ぐんぐん教室」という放課後授業を月に2回行なっているということである。

礼を重んじる教育の環境として、登下校時に校門前で「お願いします」「ありがとうございます」と挨拶の徹底が特に印象的だった。

人口減少の中にも、学校の統廃合とは言わず、学習環境の適正化と表現するところも非常に参考になるところであった。

委員会レポート

素早い発行を心がける

議会広報常任委員会（平成30年11月15・16日）

視察先：群馬県玉村町・読売新聞東京本社

参加した委員は、伊藤由子（委員長）・味上庄一郎（副委員長）
・早坂忠幸（以下委員）・三浦進・高橋聡輔・一條寛・早坂伊佐雄（議長）

委員長の考えを反映

玉村町議会だよりは、全国広報コンクールで奨励賞や優良賞（7位）を受賞している広報紙である。

委員長がかわると委員長の考えで編集方針もかわり、以前の6段組から現在は4段組みになっている。また、1年分の担当ページの割り当てを予め先に割り振っており、各委員が事前にどんな写真を撮るかなど考える時間を十分とる工夫をしていた。

一般質問のページは、音声データを確認しながら作成したり、掲載する文字数が予め決まっているため、タイトルや記事の文字数が超えないように初めから入稿する際に気をつけている。

また、印刷業者が編集



活発な意見が交わされた（群馬県玉村町）

【研修先の紹介】

群馬県玉村町
●人口 36,435人
●議員定数 13人
●議会広報全国コンクール平成26年度奨励賞（編集・デザイン部門）
平成29年度優良賞（7位）

会議に参加し、持参したパソコンを使用しプロジェクターで映した広報紙をその場で編集するため、経費は掛かるが加美町より2週間早い発行になっている。

特集

地域おこし協力隊 ×

報告会 広域協議会 常任委員会

意見交換会

平成30年12月14日

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、都市住民などの人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図るものです。加美町では、平成22年度より取り組んでおり、今回、地域おこし協力隊員9人から日ごろの活動内容などをお伺いしました。



定住に向けた継続的な支援を

加美町の印象や感じたことは



龍田

岩出山
に行く途中
中の町と

という印象でした。中新田に住んでいるが不便さを感じません。小野田、宮崎は、お店や交通量が少なく寂しい感じがします。下水道の整備が充実したら人が来ると思います。

坂上

山菜を採ったり、そばを食べに来てい

た町。私は青森県育ちなので、田舎の方が暮らしやすいです。

米津

東京勤務で、田舎暮らしがしたかった

動するんだなあと感じました。

地域おこし協力隊になつたきっかけは



大友

食に興味があつたのでや

りたい農業はここでした。後先考えずに移住を決めました。小野田に親戚がいたことも大きかったです。全てが初めてのことで大変だが、やりがいを感じています。

岸田

学生時代に農業の研究をしているうち

に自分で作ってみたいとなつたことと、1号隊員の田原さんの薦めもきっかけの一つでした。

伊東

埼玉でサラリーマンをしていたが、多

くの人と関わるのが苦手でした。木工に関わる仕事に興味がありました。



関口

おおさきFMで仕事をし

ていました。大崎地域の広報紙を見て加美町を選



高橋

地元が塩釜で長野から

付近から眺める薬菜山が好きです。



高橋

美術関係の仕事で埼玉で

宮城県内のどこかに戻ろうと考えた時に自然豊かな加美町にきました。住んでいる地域と職場の地域が違うことに違和感を

13年過ごし、地元に帰りたいという思いがありました。野菜がとても好きで、東京の移住フェアで、11号隊員の佐々木さんから土産センターなどの具体的な話を聞いて気持ち



地域おこし協力隊の皆さん

写真後列左から

大友裕貴さん

高橋千鶴さん

岸田紗季さん

関口幸さん

高橋巴さん

写真前列左から

米津岳さん

伊東利英さん

龍田義彦さん

坂上昌哉さん

言葉の問題で苦労した
ことはないですか



伊東

分らないこと
もありま
すがテンポの問題で、身
振り手振りを取り入れて
います。

米津

職場の観光まちづ
くり協会では東北な
まりはあまり気にならな
いですが、時々分からな
い単語が聞こえてきます。

任期後の支援も考えて
ほしいという声も聞い
ていますが、任期後も
町に住みたいですか



米津

住まい
のことが
協力隊の
定例会の話題になってい
ます。任期後、そのまま
暮らすのは家賃など厳し
い状況があり、定住に当
たり家を持つか、低額で
借りるなどが必要になっ
てきます。

龍田

活動が終わってか
らも、就職や起業す
るなどケアをしてほし
いです。これだけ土地が
あるのに何で土地を探
すのが大変なのかと思
っています。

基本給は安いので、手
当の部分で収入を増や
してあげると良いと思
います。加美町は子育
環境が充実しているの
でPRしたら人が集ま
ると思います。



坂上

任期後
加美町に
住んで独
立か社員になる選択
肢があります。

高齢者が多くなり、
人口が減ることを考
え、不安で、定住を
考える上でも何かし
ら対策があると思
います。



岸田

土地が
未相続な
どの理由
で、農地を探すのに
苦労しています。農
業委員会

と連携を強化し、生計を
立てられるまとまった農
地を探していただける仕
組み作りが大切だと思
います。



地域おこし協力隊の
皆さんからは、空き家・
就職先の斡旋・定住支
援策の要望や貴重なご
意見を聞かせていただ
きました。ありがとうございました。

あれからどうなった

平成29年12月定例会の一般質問内容が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

議会広報No.60から

■住民投票での新庁舎建設判断は



問

加美町まちづくり基本条例で、住民投票を実施する条件が整った。矢越・西田の町有地の活用を住民投票で判断してもらうことが必要では。

答

住民投票は一つの選択肢であると考えている。総合的に勘案して住民投票を行うか判断していく。

その後



■総合的に検討し慎重に判断

当面、現在の庁舎を使用し、合併特例債が使える平成40年度までに庁舎の増築、新築を含め検討すべきと考えている。

検討において、住民投票もひとつの選択肢であると考えているが、メリット、デメリットなど総合的に検討し慎重に判断したい。

臨時会

1月24日

小中学校にエアコン設置

熱中症対策・学習意欲の向上へ

補正予算

主な歳入は、冷房設備
対応臨時特例交付金78
14万5000円、学校
空調設備整備事業債1億
5810万円増である。
主な歳出は、小中学校空

調設備工事2億3460
万円増、小野田中学校の
多目的トイレ工事602
万円増、小野田東部体育
館の修繕工事423万円
増など2億4624万5
000円を追加し、歳入
歳出それぞれ141億9
207万4000円とす

る補正予算を可決しまし
た。

問

エアコン設置は、
夏までに間にあうの
か。

答

2月に発注し、8
月までの工期を考え
ている。



人事案件

副町長の選任に同意

前副町長の辞職に伴い、
高橋洋氏の選任に同意し
ました。

高橋

洋

(63歳・漆沢)



投票結果

賛成9 対 反対8

略歴

加美町森林整備対策室長
加美町企画財政課長

“傍聴に来てけらいん”

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。ぜひ、傍聴にお越しください。

議会傍聴された方

件 名	会 期	傍聴者数	
		男性	女性
12月定例会	12月5日～7日	32	56
1月臨時会	1月24日	2	0
合 計		34	56



たくさんの方に傍聴していただき感謝いたします

トピックス

総務大臣から感謝状



10月26日、35年の長きにわたり、地方自治の振興と発展に寄与並びに住民の福祉の向上に尽くされた功績に対し、米木正二議員に感謝状が贈られました。

視察受け入れで切磋琢磨

10月30日、福島県矢吹町議会から広報常任委員会に視察・来町いただきました。議会広報編集・町民への議会情報の発信、現状における課題などについてお互いの意見交換を行いました。



●議長交際費内訳 (10月～12月)

情報公開

月	件数	金 額	内 訳
10月	4件	23,000円	会費
11月	5件	31,250円	会費
12月	1件	10,000円	会費
合計	10件	64,250円	

議会だよりへ一言

議会だより63号（平成30年11月1日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター 一部にカタカナ表記の多い内容がありました。子どもからお年寄りに理解を頂くようなコメントなどの配慮を望みます。



広報委員会として 出来るだけ分かりやすいような文章表現に努めます。

平成31年度 議会だよりモニター募集!

18歳以上の町内在住の方で、年4回発行される議会だよりに関するアンケートに協力していただき、広報編集委員とモニター会議で意見交換を試みませんか。

問合せ 議会事務局 ☎67-5120

次回の定例会は
3月上旬頃
の開会予定です

表紙写真の紹介



中新田保育所
(1月10日)

スポーツリトミックで園児らがおもいきり体を動かしました。ピアノのリズムにあわせて体を早く動かしたり、反対にゆっくり動かしたりと、お友だちと楽しそうに体験していました。



～ 交流会区民の絆 ～

中新田・田川（168戸）

板垣 義宏 区長



田川行政区は西側に鳴瀬川、田川の合流点がある世帯数168戸の地区です。

毎年10月に

開催する地区民交流会は、田川あゆの里公園で行います。区民の子どもから大人、さらにはグループホーム入居者も多数参加しました。皆が楽しめる様々なゲーム大会、新米のおにぎりを食べながらの芋煮会、世帯全戸に配る記念品やその他多くの賞品を準備して楽しみます。

また、交流会において防災訓練も実施しました。交流会におけるおにぎり作りやテント設置も防災訓練の一環ととらえて行っています。今回は田川消防団の協力のもとに、水消火器を使用した初期消火訓練なども実施しました。

交流会を通じて、地区民全員が健康で幸せな生活を送るために協力し合い、区民の絆を深めることができました。

今後、尚一層の地区民の親睦と融和を図りながら、行政区の活性化に邁進いたします。



水消火器を使用した初期消火訓練

われらが仲間

誰でも参加できる「場・時」を提供 「ママの笑顔の応援団maru☺」



場 所 加美町まちづくりセンター
2階木育広場
連絡先 「ママの笑顔の応援団maru☺」
代表者 千葉里絵
☎090-2022-4574

私たちは「毎日頑張っているママたちに笑顔になってもらえる時間を提供したい!」という想いを胸に結成したイベント企画グループです。スタッフは、みんな子育て真っ最中のママたち。大変さがわかるからこそ、子育ての中でも楽しい時間を作っていこうと活動しています。

日曜講座では、大盛況のハロウィンパーティやラフターヨガ、リトミックなど、お子様連れでも気兼ねなく参加できる場づくりを大切に企画して来しました。

毎月第3木曜日の午前中に講師の先生をお呼びしてベリリダンス講座を宮崎公民館で開催中です。心も身体もリフレッシュできると大好評です。

ふらっと遊びに来られるような場所にしたいと思っています。ぜひ遊びにきてください!

編集後記

いま世間では、「平成最後」のフレーズで様々な報道がされています。

昨年12月に天皇陛下が会見をされました。その内容は、国の象徴としての務めを終えようとしているとき、その支えとなった国民と皇后陛下への感謝の言葉を述べ、涙ぐまれるシーンがありました。東日本大震災のときに、南三陸町を訪れて海に向かって黙礼される両陛下の姿が目につく胸が熱くなりました。

私たち議員も、平成を惜しみつつ新しい時代に向かい、町民に寄り添う町政にしていこうと心に残っています。

(味上庄一郎)

議会広報常任委員会 編集委員

委員長	伊藤 由子
副委員長	味上庄一郎
委員	早坂 忠幸
三浦 進	
高橋 聡輔	
一條 寛	